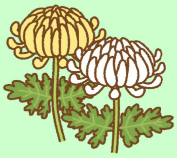
美郷町立六郷小学校　学校報

学校教育目標
ゆたかな心　かがやくひとみ

六郷 ～元気に輝いて～



令和５年度
第４７号
2023. 11.2

年長さんとの「秋まつり」で思いっきり楽しみました！（１年生）

10月31日には、１年生が、わくわく園の年長さんをご招待して生活科の「秋まつり」を行いました。園の時に交流のある年長さんが来るとあって、これまで１年生は、準備から熱心に取り組んできました。

はじめの会では、司会の子どもたちのはきはきした声やみんなの一生懸命な歌声で、お客様を魅了していました。また、４つの「遊び」のコーナーでは、年長さんが楽しめるように工夫された遊びを一緒になって楽しむ様子が見られました。

小学校に入ってまだ半年あまりの１年生ですが、年長さんが心配しないように笑顔で接してあげたり、優しい声をかけてあげたりと、お兄さん・お姉さん役を立派にこなすことができていました。年長さんを引率していた園の先生方からも、「一つ一つの行動が立派で感心しました。」「半年見ないうちにとても成長していますね！」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

１年生の頑張りと成長がたくさん見られた収穫の多い「秋まつり」となりました。

町の事業『「鴻鵠の志」講演会』に参加しました！（６年生）

10月30日に美郷中学校において、教育委員会が主催する「鴻鵠（こうこく）の志」講演会が行われ、本校からは６年生が参加しました。講師は、筑波大学名誉教授で精神科医でもある高橋正雄氏。高橋氏は、六郷小学校出身で、子どもたちの先輩にあたります。講演題は「病みながら生きる存在としての人間～『運命』はなぜ名曲か？～」。みんなが知っている「運命」を作曲した時、ベートーベンは聴覚障害を抱えており、その障害を乗り越えるかのごとく曲を創り上げたことを第一楽章から第四楽章の冒頭部分を聞きながら説明していただきました。また、宮沢賢治の文学には、現在問題となっている「ヤングケアラー」や「いじめ問題」、「障がい者や高齢者に対する畏敬の念」などが取り上げられていることを高橋先生の独自の分析をもとに、分かりやすく教えていただきました。今までにない視点からのお話は、６年生にとってとても新鮮で興味深かったようです。また、６年生の先輩のお話を真剣に聞く態度も印象的でした。

（裏面に活躍紹介があります）

【 しみずっ子たちの活躍を紹介します！！⑮】　　おめでとう！！

【野球】

○令和５年度　だけ丸カップ　　主催：令和５年度だけ丸カップ実行委員会（令和5年10月29日）

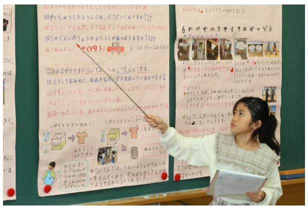
・ファインプレー賞　　○○○○さん（６年）

【社会科研究】

○第58回大曲仙北児童生徒社会科研究発表会

主催：大曲仙北社会科教育研究会（令和5年10月31日）

・小学校１年～４年生の部

優秀賞　○○○○さん（１年）

※１年生では、唯一の出場者でありながら、出場者１０人の中でもトップの成績で優秀賞をいただきました。内容・発表態度ともに大変すばらしいものがありました。